

平成29年度～平成33年度 社会福祉法人 菊水会 社会福祉充実計画

1 基本的事項

法人名	社会福祉法人 菊水会							
法人代表者氏名	理事長 榊 茂信							
法人の主たる所在地	青森市西滝三丁目5の7							
連絡先	017-766-1715(幼保連携型認定こども園滝内保育園)							
地域住民その他の関係者への意見徴収年月日	地域公益事業は実施しないので、該当しない。							
公認会計士、税理士等の意見徴収年月日	平成29年6月7日							
評議員会の承認年月日	平成29年6月11日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位:千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1年目 (平成29年度末現在)	2年目 (平成30年度末現在)	3年目 (平成31年度末現在)	4年目 (平成32年度末現在)	5年目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	12,770	10,690	7,690	5,000	2,500	0		0
うち社会福祉充実事業費(単位:千円)		2,080	3,000	2,690	2,500	2,500	12,770	
本計画の対象期間	平成29年度～平成33年度							

2 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1年目	監視カメラシステム更新事業<前半> (幼保連携型認定こども園滝内保育園施設・設備整備事業の内のメニュー(以下、本表において同じ))	社会福祉事業	既存施設の補修	幼保連携型認定こども園滝内保育園の不審者の押入り等を監視するカメラシステムについて、より効率的に監視できるシステムへ替える。	無	1,480,000円
	園内照明LED化事業	社会福祉事業	既存施設の補修	同園の園舎内の照明をLEDに切り替える。	無	600,000円
	小計					
2年目	園庭遊具更新事業	社会福祉事業	既存施設の補修	同園の園庭に設置する遊具を更新する。	無	1,000,000円
	監視カメラシステム更新事業<後半>	社会福祉事業	既存施設の補修	同園の不審者の押入り等を監視するカメラシステムについて、より効率的に監視できるシステムへ替える。	無	2,000,000円
	小計					
3年目	園舎屋根塗装事業	社会福祉事業	既存施設の補修	同園の園舎について、屋根に熱反射効果のある塗装を行う。	無	2,000,000円
	園庭遊具更新事業	社会福祉事業	既存施設の補修	同園の園庭に設置する遊具を更新する。	無	690,000円
	小計					

4年目	園周囲塀改修事業 <前半>	社会福祉事業	既存施設の 補修	同園の周囲の塀について耐震性の強いものに改修する。	無	2,500,000円
5年目	園周囲塀改修事業 <後半>	社会福祉事業	既存施設の 補修	同園の周囲の塀について耐震性の強いものに改修する。	無	2,500,000円
合計						12,770,000円

3 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
①社会福祉事業及び公益事業(小規模事業)	社会福祉充実残額を、幼保連携型認定こども園の施設・設備の整備に使用することによって、児童福祉の増進を図ることとする。
②地域公益事業	上記①の事業に使用するため、地域公益事業は実施しない。
③ ①及び②以外の公益事業	上記①の事業に使用するため実施しない。

4 資金計画

(単位:千円)

事業名	事業費内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計	
幼保連携型認定こども園 園内保育園 施設・設備 整備事業	計画の実施期間における 事業費合計	2,080	3,000	2,690	2,500	2,500	12,770	
	財 源 構 成	社会福祉充 実残額	2,080	3,000	2,690	2,500	2,500	12,770
		補助金	0	0	0	0	0	0
		借入金	0	0	0	0	0	0
		事業収益	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0

5 事業の詳細

事業名	幼保連携型認定こども園園内保育園施設・設備整備事業	
主な対象者	子ども及び子育て世代	
想定される対象者数	90名	
事業の実施地域	青森県青森市西滝三丁目5の7(幼保連携型認定こども園園内保育園)	
事業の実施時期	平成29年4月1日～平成34年3月31日	
事業内容	幼保連携型認定こども園園内保育園の施設・設備の改良を行うことで、保育・教育環境の改善を図るとともに、園庭遊具等をより教育効果の高いものへ替えることで、幼児教育内容の向上を図る。	
	1年目	1 幼保連携型認定こども園園内保育園に不審者の押入り等が発生しないか監視するカメラシステムについて、より正確に監視できるシステムへ更新し、園児の安全性の向上を図る。 2 幼保連携型認定こども園園内保育園の照明をLEDに切り替え、維持管理費を低減することによって、保育・教育の内容充実を図る。
	2年目	1 幼保連携型認定こども園園内保育園の園庭に設置する遊具について、幼児教育上より効果の高いものへ替えることで、幼児教育の内容充実を図る。 2 幼保連携型認定こども園園内保育園に不審者の押入り等が発生しないか監視するカメラシステムについて、より正確に監視できるシステムへ更新し、園児の安全性の向上を図る。

事業の実施スケジュール	3年目	1 幼保連携型認定こども園滝内保育園園舎について、屋根に熱反射効果のある塗装を行うことで、夏場の室温上昇を防ぎ、保育・教育環境の改善を図る。 2 幼保連携型認定こども園滝内保育園の園庭に設置する遊具について、幼児教育上より効果の高いものへ替えることで、幼児教育の内容充実を図る。
	4年目	幼保連携型認定こども園滝内保育園の周囲の塀について耐震性の強いものに改修し、園児の安全性の向上を図る。
	5年目	幼保連携型認定こども園滝内保育園の周囲の塀について耐震性の強いものに改修し、園児の安全性の向上を図る。
事業費精算 (概算)	固定資産取得費10,770千円、修繕費2,000千円	
	合計	12,770千円(うち社会福祉充実残額12,770千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	(地域公益事業を実施しないので、該当しない)	

6 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

(該当なし)
